

**IBM DB2 Information Integrator**



## **Classic Event Publishing リリース情報**

バージョン 8.2



**IBM DB2 Information Integrator**



## **Classic Event Publishing リリース情報**

バージョン 8.2

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、7ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

Q<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM DB2 Information Integrator  
Release Notes for Classic Event Publishing  
Version 8.2

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

---

## 目次

リリース情報について . . . . .	v	公開サービス . . . . .	3
DB2 Information Integrator の Web 上のサポート . . . . .	v	<b>製品のアップデート . . . . .</b>	<b>5</b>
<b>トラブルシューティング . . . . .</b>	<b>1</b>	IMS: HALDB サポート . . . . .	5
<b>製品の修正点 . . . . .</b>	<b>3</b>	異なるオペレーティング・システム・イメージでの公開サービス . . . . .	5
Adabas データ・ソース . . . . .	3	VSAM: 重複検査 (オプション) . . . . .	5
データ・マッパー . . . . .	3	<b>特記事項 . . . . .</b>	<b>7</b>
相関サービス . . . . .	3	商標 . . . . .	9
IMS データ・ソース . . . . .	3		



---

## リリース情報について

リリース情報には、IBM® DB2® Information Integrator Classic Event Publisher バージョン 8.2 に関する最新情報が含まれています。

リリース情報は 3 つの部分で構成されています。

- 第 1 の部分では、Classic Event Publisher で問題が発生した場合に、サポートに報告する診断情報の詳細について説明します。
- 第 2 の部分では、発表時に判明している最新バージョンの製品の問題、制限、および予備手段について説明します。DB2 Information Integrator Classic Event Publisher のこのリリースに関する既知で未解決の問題を確認するには、これらの情報を参照してください。
- 第 3 の部分では、バージョン 8.2 PTF に含まれる、製品の修正点と機能拡張について説明します。

---

## DB2 Information Integrator の Web 上のサポート

DB2 Information Integrator と最新のサポート情報について詳しくは、DB2 Information Integrator サポート Web ページ [www.ibm.com/software/data/integration/db2ii/support.html](http://www.ibm.com/software/data/integration/db2ii/support.html) を参照してください。



---

## トラブルシューティング

問題が発生し、サポートを依頼する場合は、以下の診断情報の一部またはすべてを提出できるよう準備しておいてください。

### サーバー・ログに取り込まれたすべての該当構成ファイル

例えば、以下に関するものです。

- データ・サーバー
- 相関サーバー
- 照会プロセッサ
- ユーザー・オーバーライド

MTO DISPLAY、CONFIG コマンドを使用して、データ・サーバーのログ内のアクティブな構成メンバーの内容を表示することができます。このコマンドの使用についての情報は、「*IBM DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Classic Event Publishing* の管理ガイドおよび解説書 V8.2」を参照してください。

データ・サーバー JCL で参照される SCACCONF データ・セットの構成ファイルを送ることもできます。

### 場合によっては提出していただく必要があるその他の情報

- データ・サーバーのすべての出力
- 該当するすべての DBD、サンプル集、照会、および USE 文法
- トレース・ファイル

詳細な診断のため、次の情報の提出が必要になる場合があります。

- Adabas データ・ソースを使用している場合: ADAREP および DDL
- CA-IDMS データ・ソースを使用している場合: スキーマ・レポートおよびサブスキーマ・レポート
- IMS™ データ・ソースを使用している場合: IMS トランザクション・ログ
- VSAM データ・ソースを使用している場合: CICS® ログ

トレースについては、「*DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Event Publishing* の管理ガイドおよび解説書」のサーバー・ロギングに関するセクションを参照してください。

- システム・ダンプ

異常終了が発生した場合、完全なシステム・ダンプは自動的に生成されません。異常終了を再現できる場合は、適切な SYSMDUMP DD を追加してダンプを生成できます。SYSMDUMP が要求されると、ダンプは、SYSMDUMP DD で定義されたデータ・セットに送られます。

異常終了が発生し、データ・サーバーの JCL に SYSMDUMP DD ステートメントがない場合、データ・サーバーの JES メッセージ・ログおよびシステム・メッセージ・ログを検査して、システム・ダンプが生成されたかどうかを判別してください。

- キューからのフォーマット設定メッセージ `ep_extras.zip` ファイルには、メッセージ・キューを読み取るプログラムおよびキュー定義が含まれています。

#### **z/OS® における異常終了の問題**

エラー時の PSW と REGS、および SAS/C 関数呼び出しトレース・スタックを確認します。PSW および REGS は、データ・サーバー出力の JESMSG LG および JESYSMSG で確認できます。SAS/C 関数呼び出しトレース・スタックは、データ・サーバー出力 SYSTERM、または SYSnnnnn などのシステム生成 DD で確認できます。

その問題が異常終了の場合は、エラー発生時に、呼び出しスタックからのトレースバック情報が標準出力に送信されます。バッチ実行の場合、トレースバック情報はジョブ・ログに送信されます。

#### **メタデータ・ユーティリティーの問題**

問題のあった実行からの SYSOUT を用意してください。

---

## 製品の修正点

次のセクションでは、バージョン 8.2 PTF に含まれる、製品のバグ修正と機能拡張について説明します。

---

### Adabas データ・ソース

Adabas 7.4.2 以後のバージョンのDB2 Information Integrator Classic Edition は、再入可能な ADALNK モジュールを正しく検出せず、それを使用する機能が働きませんでした。

---

### データ・マッパー

スウェーデン語の文字をデータ・マッパーの「注釈 (Remarks)」フィールドに入力すると、スウェーデン語の文字ではなく、ブランクまたは日本語の文字が表示されました。

---

### 関連サービス

REPORT コマンドが発行され、112 を超える変更キャプチャー・エージェントがトラッキングされた場合、関連サービスは異常終了しました。

---

### IMS データ・ソース

可変長のセグメントとして内部定義された、固定長 DEDB セグメントはサポートされていませんでした。

---

### 公開サービス

- XML メッセージの rowOp および trans タグにコミット時間を含む属性は、「cmitTime」ではなく「cmtTime」として誤って作成されていました。
- 日本語データで XML メッセージを作成中にメッセージ・プールがいっぱいになった場合、公開サービスが失敗しました。
- WebSphere® MQ のメッセージ・キューにメッセージが書き込まれるエラーが発生した場合、変更キャプチャー・エージェントがリカバリー・モードになることがありました。



---

## 製品のアップデート

---

### IMS: HALDB サポート

IMS PHDAM および PHIDAM ハイ・アベイラビリティ・ラージ・データベース (HALDB) がデータ・ソースとしてサポートされるようになりました。

---

### 異なるオペレーティング・システム・イメージでの公開サービス

関連サービス、変更キャプチャー・エージェントおよびデータベース管理システムが実行されているイメージとは異なる、オペレーティング・システム・イメージで、公開サービスおよび WebSphere MQ を実行することができるようになりました。この構造的な変更によって、WebSphere Information Integration Classic Event Publisher のパフォーマンスが向上し、ご使用のデータベース管理システムが実行しているイメージにかかる負荷を軽減します。

この変更に関する詳細は、『WebSphere Information Integrator Classic Event Publisher 上の別個の z/OS イメージでの、関連サービスと公開サービスの実行 ("Running correlation services and publication services on separate z/OS images in WebSphere Information Integrator Classic Event Publisher")』を参照してください。

---

### VSAM: 重複検査 (オプション)

関連サービスによって、情報を公開サービスに渡す前に重複レコードをフィルタリングできるようになりました。関連サービスの Service Info Entry のパラメーター 3 で値を 3 に設定すれば、重複レコードの検査が使用可能になります。デフォルト値の 2 に設定した場合、相関性サービスは重複レコードを通過させ公開サービスへ渡します。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
J46A/G4  
555 Bailey Avenue  
San Jose, CA 95141-1003  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

#### 著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生した創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年)。このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_。 All rights reserved.

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM  
AIX  
CICS  
COBOL/370  
DB2  
DB2 Universal Database  
IMS  
Language Environment  
MVS  
MVS/ESA  
VTAM  
WebSphere  
z/OS

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。







Printed in Japan